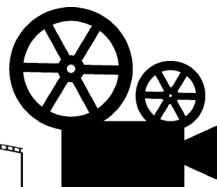


MOVIE



『近江ミッション—願いと 祈りと 喜びと』



近江ミッション

願いと 祈りと 喜びと

写真は株式会社アスツナグエイゾウ提供

「八幡まつり」等、毎年火を使った祭りが行われることで知られる滋賀県近江八幡市。琵琶湖にほど近いヴォーリズ記念病院のホスピス病棟や、在宅医療の現場での診療風景、カンファレンスの様子、患者さんやご家族の会話等、一人ひとりの時間の流れがフィルムに収め始められた2022年には、新型コロナウイルス感染症により、面会が制限される等、緩和ケアの場も大きな影響を受けていた。一方で「ホスピス病棟を退院して訪問診療に切り替える」、「病棟でお別れの会を行う」等の人々の“願い”や、それを叶えたいといった“祈り”は、コロナ前と変わらないものとして映し出される。

タイトルの「近江ミッション」は、近江八幡を拠点に活動したキリスト教伝道団の名称でもあり、創立者は今日の近江兄弟社を築いた William Merrell Vories（ヴォーリズ）氏。1900年代の日本で猛威をふるった感染症である結核を憂いた、ヴォーリズ氏が設立した療養院が、本作の舞台

ヴォーリズ記念病院のルーツである。

溝渕監督からのメッセージ

「たとえ病の中に在っても人には願いがある」
2022年11月にホスピス病棟を訪ねたとき、私は愕然とした。

そこはまさに閉鎖病棟。2011年に取材した同じ病院のホスピス病棟とは思えなかった。

ところが、以前と変わらないモノがそこにはありました。この映画の主人公は患者と家族の、そして医療者たちの「願いと祈り」です。

その「願い」が叶えられたときの「喜び」を感じていただければ、私にとってこのうえのない喜びです。

■映画『近江ミッション—願いと 祈りと 喜びと』

監督：溝渕雅幸

制作：R's STAFF

製作配給：アスツナグエイゾウ

2024年/日本/カラー/4KDCP/100分

2025年1月10日(金)～TOHO シネマズ日本橋（東京都）にて封切（以降全国順次公開）

*最新情報はサイトで確認ください

<https://www.inochi-hospice.com/mission/>